HELMUT KOHL

- **Chancellor of West Germany from 1982 to 1990 and of the reunified German nation from 1990 to 1998**

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

クリスチャン民主党のリーダーであるヘルムートコールは1982年にドイツの首相になりました。1998年にドイツ人はドイツの再統一を監督し、ドイツの統一を監督する16年間にわたるヘルムートコールによる規則を終了しましたヨーロッパの冷戦の。

彼は戦後のドイツの歴史の中で誰よりも長官の地位を握った。

1986年の景気回復は、ヘルムートコールの再選をもたらしました。東ドイツでの共産党政権の崩壊は、ソビエトがドイツの統一に対処することに反対しただけだった。 1989年11月9日の夜、ベルリンの壁は解体され、再統一は避けられなかった。 1990年7月、コールはソビエトの指導者ゴルバチョフに、（西）ドイツからの財政援助と引き換えに異議を棄却するよう求めた。ゴルバチョフはこれに同意し、1990年10月3日にドイツ民主共和国が連邦共和国に加盟し、ドイツは1945年以来初めて統一統治国家となった。

1960年、ヘルムートはルートヴィヒスハーフェン市議会議員に選出され、1969年までCDU党の党首に就任しました。1963年にはラインラント＝プファルツ州の議会にも選出され、その議会でCDU党の党首にもなりました。 1966年から1973年まで、彼はCDUの議長を務め、彼は連邦CDU委員会のメンバーでもありました。 1969年5月、コールはラインランドプファルツ州の大臣 - 大統領に選出されました。また1969年に、コールは連邦CDU党の副議長になりました。1976年の連邦選挙では、コールがCDU / CSUの首相候補になりました。 1982年10月CDUは政府に自信がないという投票を提案し、連邦議会はHelmut Kohlを首相として、新しいCDU / CSU-FDP連立内閣に投票した。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988